

「わたらしい生き方応援プランひろしま」(広島県男女共同参画基本計画(第5次))素案について

〔 令和3年1月19日
人権男女共同参画課 〕

1 趣旨

男女共同参画の推進に関する施策の、総合的かつ計画的な推進を図るための実施計画である広島県男女共同参画基本計画(第4次)が今年度で終了することから、これまでの成果や課題を検証し、また社会情勢の変化等を踏まえ、広島県男女共同参画基本計画(第5次)を策定する。

2 計画の概要

(1) 計画の名称

「わたらしい生き方応援プランひろしま ～ 性別にかかわらず多様な選択ができる社会を目指して～」とする。

(2) 目指す将来像

性別に関わらず誰もが、互いに人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において共に参画し、責任も分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現

(3) 計画の位置付け

- ・男女共同参画社会基本法第14条、広島県男女共同参画推進条例第7条に基づく県の基本計画
- ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性の活躍推進法)第6条に基づく県の推進計画
- ・「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の分野別計画
- ・「ひろしまDV防止・被害者支援計画(第4次)」等、関連計画と整合

(4) 計画期間

令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)(5年間)

(5) 基本的な考え方

働く女性の活躍支援や、デジタル技術の進展なども反映した柔軟な働き方・暮らし方の実現に向けた環境整備の取組に加え、男性の視点にも留意し、性差に関する固定的意識の変革を促していく。また、近年課題となっている性の多様性についての理解促進や、様々な困難を抱える人への支援に係る取組を進めていく。

こうした取組を通じ、性別に関わらず誰もが、能力を発揮しながら安心して働くことができるとともに、それぞれのライフステージの各段階で、自分らしい選択により、仕事と暮らしの両方において、安心して、充実した生き方が可能となる社会の実現を図っていく。

(6) 特に注力する事項

基本的な考え方を踏まえ、次の3点を特に注力する事項・ポイントとして取り組む。

- ① 性別に関わらず誰もが安心して働き、活躍できる環境づくり
- ② 性別に関わらない自分らしい暮らし方の実現に向けた男女双方の意識改革
- ③ 性の多様性の尊重と県民理解の促進

(7) 施策体系

基本的な考え方と特に注力する事項を踏まえ、5年後の目指す姿（3を参照）を定め、これを基に、計画の施策体系を次のとおりとする。

領域	基本となる施策の方向
I 仕事と暮らしの充実	1 誰もが安心して自らが望む働き方にチャレンジできる環境づくり
	2 女性が意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり
	3 個人生活の充実による多様な暮らし方の実現
II 男女双方の意識改革	1 性差に係る固定的な意識の解消
	2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成
III 安心して暮らせる環境の整備	1 暴力や貧困など、様々な困難を抱える人への支援
	2 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・性自認に関わらず安心して暮らせる環境づくり
IV 推進体制の整備等	1 市町や様々な団体等との連携強化
	2 地域社会における政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映

3 目指す姿（5年後）と主な具体的取組、成果指標

(1) 仕事と暮らしの充実

① 誰もが安心して自らが望む働き方にチャレンジできる環境づくり

目指す姿 (5年後)	様々な職場において、性別に関わらず誰もが、ライフイベントと両立しながら安心して働き続けることができ、また、DX（デジタルトランスフォーメーション）の進展等による在宅ワークなど、ライフスタイルに応じて柔軟に働くことができる環境が広がっています。
主な具体的取組	<p><暮らしと両立できる職場環境の整備> ※特に注力する事項・ポイント①（男性に留意）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の普及のためのテレワーク等の活用事例の紹介や相談会等の実施による、その有効性の理解と導入促進 ○企業等に対する、両立支援制度や職場環境整備の促進、男性の育児休業制度についての周知や意識醸成による取得しやすい職場環境整備の促進と、男性が家事・育児・介護等に参画することの意義や効果などの理解促進 ○企業等に対する、妊娠・出産期の女性に対する法律や制度等の周知、不妊治療への理解促進と仕事の両立に向けた広報 <p><仕事と暮らしを両立するためのサービスの充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画的な保育所及び放課後児童クラブの整備と、保育士、放課後児童支援員の確保・資質向上による、ニーズに応じた質の高い保育等の提供体制の確保 ○療育を必要とする子供の親が仕事と家庭を両立するサービスである放課後等デイサービスや児童発達支援のサービスの供給が不足しないような事業所の確保 ○地域の実情に応じた介護サービス基盤の確保及び地域包括支援センター等の相談体制の強化による地域包括ケアシステムの質の向上

成果指標	デジタル技術の活用等による時間や場所にと られない柔軟な働き方を推進する企業（従 業員 31 人以上）の割合	現状値	目標 (R7)
		28.3% (R2)	50.0%
	男性の育児休業取得率	現状値	目標 (R7)
		13.0% (R1)	30.0%
	保育所の待機児童数 (4/1 時点)	現状値	目標 (R7)
		39 人 (R2)	0 人

② 女性が意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり

目指す姿 (5年後)	様々な職場において、多様な人材誰もがその能力を発揮できる機会が提供されることにより、女性が仕事に対する意欲を持つことができ、その力を発揮できる環境が整っています。		
主な具体的 取組	<p><女性のキャリア形成支援と人材育成> ※特に注力する事項・ポイント①</p> <p>○女性活躍を経営戦略として推進するための企業の経営者等への働きかけの強化や、女性活躍推進法に基づく計画の策定支援、取組のノウハウの提供や成功事例の発信などによる、女性従業員の採用拡大、人材育成、管理職等への登用に向けた取組の計画的かつ効果的な推進の支援</p> <p>○女性従業員に対し、研修やネットワーク形成の機会提供などにより、働き続けることや、管理職等へのキャリアアップに挑戦する意欲向上</p> <p><就業継続や再就職、創業等女性の多様な働き方></p> <p>○働きやすい職場環境づくりの促進と、女性従業員に対する就業意欲の向上等、就業継続に向けた支援</p> <p>○妊娠・出産・育児等のライフイベントを機に離職した女性等の再就職に向けた支援</p> <p>○創業意欲を持つ女性が創業できるような相談、専門家派遣、セミナー開催など、継続的・総合的な支援</p>		
成果指標	県内事業所における指導的立場に占める女性の割合	現状値	目標 (R7)
		19.1% (R2)	25.0%
	女性 (25～44 歳) の就業率	現状値	目標 (R7)
		72.3% (H27)	82.5%

③ 個人生活の充実による多様な暮らし方の実現

目指す姿 (5年後)	多様な暮らし方が可能となる中で、性別に関わらず誰もが、それぞれのライフステージの各段階で、希望に応じ、仕事と両立させながら、子育て等の家庭生活や地域コミュニティ活動・学び等の個人生活を充実させる人が増えています。		
主な具体的取組	○仕事が忙しいために暮らしの充実をあきらめたり非現実的と考えている人が、個人生活を充実させられるよう、状況に応じた余暇時間の創出等のノウハウの情報発信 ○家庭生活や地域活動、学び等の活動への参加に消極的な人への、参加のメリットや意義の、数値や実例等に基づく紹介 ○夫婦等のパートナー同士や、職域等の男女双方を対象とした研修等による、互いのキャリアやライフプラン、立場や考え方についての認識と配慮ができる意識の醸成		
成果指標	暮らしの充実について、否定的に答えた人の割合 ・仕事が忙しく暮らしの充実をあきらめている ・暮らしを犠牲にして長時間働かざるを得ない ・日々の仕事や生活に追われ充実は非現実的 と答えた人の合計	現状値	目標 (R7)
		31.5% (R2)	26.2%

(2) 男女双方の意識改革

① 性差に係る固定的な意識の解消 **※特に注力する事項・ポイント②**

目指す姿 (5年後)	県民の興味関心を惹くようなポジティブな意識啓発や、対象に響くテーマ・手法等による意識啓発を行うことにより、性差に関する固定的な意識をもつ人が減少し、自らのライフプランを組み立てるにあたり、性別に関わらず多様な選択をする意識が醸成されてきています。		
主な具体的取組	○固定的な意識の解消のための、研修等のターゲットやテーマの工夫、Webの活用などによる啓発効果の拡大 ○男性もしくは女性の領域と考えられている分野で、性差による固定観念にとらわれず活動している人の事例の紹介と交流の場の設定と、その発信による固定的な意識の解消 ○県の発信する広報において性別によって偏った表現にならないよう、男女共同参画の視点に配慮した広報についての周知と実効性の向上		
成果指標	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「賛成」と答えた人の割合	現状値	目標 (R7)
		32.3% (R2)	22.0%

② 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成

目指す姿 (5年後)	教育において、社会人や職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力の育成が図られることで、主体的に進路や職業、ライフスタイルを選択する意識が醸成されてきています。		
主な具体的 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒が自己の生き方や働き方への考えを深め、知識や技能等を身に付けていけるような、体系的・系統的なキャリア教育の充実 ○「高校生のためのライフプランニング教育プログラム」等の活用による、自分の目指すライフスタイルの実現に向けた意識の醸成 ○夫婦等のパートナー同士や、職域等の男女双方を対象とした研修等による、互いのキャリアやライフプラン、立場や考え方の認識と配慮ができる意識の醸成 		
成果指標	「高校生のためのライフプランニング教育プログラム」等を実施している学校数	現状値	目標 (R7)
		4校 (R2)	全県立高等学校

(3) 安心して暮らせる環境の整備

① 暴力や貧困など、様々な困難を抱える人への支援

目指す姿 (5年後)	性被害や様々なハラスメントに対する取組については、被害の予防や防止の取組がすすみ、相談窓口の認知度向上や被害者がプライバシーを守られながら安心して相談でき、支援を受けることができる体制整備に取り組むことにより、被害を抱え込むことなく、被害の回復・軽減が図られる環境が整いつつあります。		
主な具体的 取組	<p><性被害やDV、様々なハラスメントなどあらゆる暴力の防止と被害者支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「性被害ワンストップセンターひろしま」の認知度向上のための周知の強化や、被害者等の心情に配慮した取組の情報発信、医療、司法、行政等の相互連携による支援体制の充実、及び、被害からの回復を促すための相談や支援等の体制整備 ○「ひろしまDV防止・被害者支援計画（第4次）」に基づく、予防教育・啓発の充実や、発見から相談、保護、自立までの適切な支援の推進 ○サイバーパトロール等による取締りの推進、保護者、児童に対する情報モラル教育等の取組の推進 ○児童生徒の発達段階に応じた、性に関する正しい知識等の教育 等 <p><生活上の困難を有する人に対する支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひとり親家庭の経済基盤の安定につながる就労支援や養育費の支払い、子供の自立に向けた支援など、ひとり親家庭への助言や支援 ○生活困窮者自立支援制度による、状況に応じた包括的な支援と、生活保護制度による生活の保障と自立支援、支援者の資質向上 ○外国人に対し、言語や生活習慣の違いから生じる課題を解決できるよう、多言語での情報提供や相談事業、通訳ボランティア支援等を実施 		
成果指標	性被害ワンストップセンターひろしまの認知度	現状値	目標 (R7)
		7.4% (R2)	13.0%以上(R5)
	デートDVに関する精神的暴力の認識率(高校生)	現状値	目標 (R7)
		66.5% (R1)	75.0%以上
ひとり親家庭における養育費の取り決め状況(取り決めをしている割合)	現状値	目標 (R7)	
	42.1% (R1)	52.7% (R6)	

② 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・性自認に関わらず安心して暮らせる環境づくり ※特に注力する事項・ポイント③

目指す姿 (5年後)	性の多様性についての正確な情報の提供等により、性的指向や性自認に関する県民の理解が深まり、自分らしく個性や能力を発揮でき、安心して暮らせる環境が整いつつあります。		
主な具体的 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○悩みを持つ人がエソール広島等の相談窓口を知り気軽に利用できるよう、相談窓口の認知度向上 ○相談内容の分析をもとに関係行政機関や民間支援団体で課題等について意見交換を行い、各事業に反映 ○相談を受ける立場の人や人権啓発に携わる人への研修等による理解の促進 ○児童生徒の発達段階に応じて人格尊重と望ましい行動がとれるような教育の実施 ○啓発行事の開催など、あらゆる機会を捉えた啓発の実施による県民理解の推進 		
成果指標	県内の公的機関（エソール広島を含む）の性的指向・性自認に関する相談窓口における相談件数	現状値	目標（R7）
		172件（R1）	430件

(4) 推進体制の整備等

① 市町や様々な団体等との連携強化

目指す姿 (5年後)	性別に関わりなく誰もが活躍できるように、市町間の情報共有や先進事例等の共有が図られることなどにより、効果的な取組が行われています。また、NPO・企業等の団体や多様な個人が、核となる団体からの働きかけにより相互に連携を強め、自律的な活動が活発に行われています。		
主な具体的 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町の男女共同参画行政の取組の活発化への意見交換や研修等 ○エソール広島が、NPO・企業等と連携し、意見交換の場づくりや交流の機会づくり、人材情報や活動情報の公開等を行うなどにより、自主的・自律的で活発な活動や交流が広がるよう支援 		
成果指標	エソール広島において、個人と団体や団体同士が協働・連携して実施した取組数（関係機関と連携し、共催で事業実施したものを含む）	現状値	目標（R7）
		12団体49回（R2）	24団体100回

② 地域社会における政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映

目指す姿 (5年後)	県・市町の審議会などにおける女性の登用や、地域の避難所運営・自治会活動などにおいて女性の意見の反映が進むことなどにより、政策・方針の立案及び決定過程等において多様な意見が取り入れられるようになっていきます。		
主な具体的 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○県の審議会委員への女性の積極的な登用の推進と女性の意見をより反映できる手法の検討 ○市町の審議会等の委員について、女性意見が反映されるよう働きかけ ○地域社会における自治会や商工団体において、女性を始め多様な意見が反映されるような働きかけ ○防災・減災、災害復興体制の整備に当たって、女性の防災関係団体の意見聴取等による「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進 		
成果指標	県の審議会等委員のうち女性委員の占める割合	現状値	目標（R7）
		33.2%（R2）	40.0%

4 今後のスケジュール

- 令和3年1月～2月 パブリックコメント開始
- 3月 計画策定